

外国人から日本についてよく聞かれる250の質問 (日常編：パート2)

URL : https://youtu.be/Ec_wVZ2wmFE

今回は「外国人から日本についてよく聞かれる250の質問」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に"ふりがな"はありません。
学習にお役立ててください。

■私のこと

こんにちは、佐野圭介といいます。30歳で東京で働く会社員です。大学時代には、留学生と交流するサークルに所属していたことがきっかけで、多くの外国人の友人ができました。彼らとの会話を通じて、日本の文化や日常生活がどのように見られているのかを知ることができ、私自身も「日本ってこんなに面白いんだ」と新たな発見をすることがたくさんありました。
その後、仕事で海外の取引先とやり取りをする機会が増えたことで、さらに「日本の魅力」や「不思議」を説明する場面が増え、改めて日本独自の文化やシステムに興味を持つようになりました。

今回は、外国人からよく寄せられる250の質問の中から「日常生活」に関する質問を取り上げます。このテーマはとても多くの質問が寄せられており、動画は全3回のシリーズとしてお届けしています。今回はその第2弾です。私たちが普段の生活の中で当たり前に行っていることや、気づかないうちに守っているルールが、海外の人たちには驚きや疑問として映ることがあります。こうした日常の「不思議」を掘り下げながら、日本の文化や価値観について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。少しでも新しい発見や、日本らしさを再認識するきっかけになればうれしいです。

■何時から何時まで仕事してるの？

日本の仕事時間は、会社や業種によって異なりますが、朝9時から午後6時までの8時間勤務が一般的です。ただ、実際には業務内容や会社の方針によって、早朝から働き始めたり、夜遅くまで働いたりすることも少なくありません。特に、忙しい時期やプロジェクトの締め切りが迫っているときは、残業が増えることも多いです。

日本では残業が当たり前という風潮が長く続いてきましたが、最近では働き方改革の影響で、労働時間の短縮やフレックスタイム制度の導入が進んでいます。これによって、少しずつ柔軟な働き方が浸透してきたように感じます。ただ、まだまだ長時間働くことが一般的な文化として根付いている部分もあり、完全に変わるには時間がかかりそうです。

私自身も以前、締め切り前で忙しい時期には、つい残業をしてしまうことが多かったです。その一方で、最近では時間内に効率よく仕事を終わらせることが重視されるようになり、自分の働き方を見直す機会が増えたと感じます。働き方改革は、労働環境を改善するための大切なステップですが、実際には会社や業種ごとに浸透の度合いが異なります。仕事とプライベートのバランスを取ることは、自分自身の健康や生活の質を保つうえで非常に重要です。これからも、柔軟で効率的な働き方が広がっていくことを期待したいです。

■先進国の中で、日本は自殺する人の割合が多いのはなぜ？

日本で自殺する人の割合が高い理由には、さまざまな要因が複雑に絡み合っていると思います。まず、過度な社会的プレッシャーや仕事のストレスが大きな原因の一つです。日本では、仕事に対する責任感や義務感が強く、長時間労働が一般的な文化として根付いています。その結果、心の健康に大きな負担がかかる人が多いのだと感じます。

さらに、日本特有の考え方として、「失敗を恐れる」とか「社会的な恥を避ける」といった価値観が根強いことも、問題を深刻化させている要因だと思っています。困難に直面しても周囲に相談するのが難しいと感じている人が多く、孤立してしまうケースが少なくありません。特に、自分の弱みをさらけ出すことに抵抗を感じる人が多い日本の社会では、精神的な問題が見過されやすいです。また、若い世代や高齢者の間では、経済的な困難や孤独感が大きな要因になっているのも事実です。若者の場合、将来への不安や人間関係のストレスが影響することが多くですし、高齢者の場合は、孤独感や経済的な問題が直接的な原因になることがあります。

さいきん せいふ じちたい じさつ たいさく きょうか そうだんまどぐち せいび しえん かくじゅう
最近では、政府や自治体が自殺対策を強化し、相談窓口の整備や支援の拡充に
とく く ぶんか てき はいげい しゃかい こうぞう もんだいかいけつ むずか
取り組んでいます。文化的な背景や社会の構造が問題解決を難しくしている
そくめん
側面もあります。
わたし じしん にほん しゃかい きがる なや きょうゆう かんきょう
私自身も、日本社会がもっと気軽に悩みを共有できるような環境になればいい
かん しゅうい ひと はな すこ こどく かん やわ ところ ふたん
と感じています。周囲の人と話すことで少しでも孤独感が和らぎ、心の負担が
かる しゃかい めざ
軽くなるような、そんな社会を目指したいです。

■なぜ日本は毎年ますます暑くなるの？

日本では毎年夏の暑さが増しているのは、本当に実感するところです。その主な原因は、やはり地球温暖化だと思えます。地球温暖化は、温室効果ガス、特に二酸化炭素の増加によって引き起こされています。これらのガスが大気中に熱を閉じ込めてしまい、地球全体の気温が上昇する中で、日本もその影響を強く受けています。

最近では、猛暑日が増えたり、記録的な暑さが続いたり、異常気象がますます顕著になっています。特に都市部では、地球温暖化に加えてヒートアイランド現象も大きく影響しているように感じます。建物や道路が熱を吸収し、それを夜間に放出することで、都市部の気温がさらに高くなる現象です。私も東京の夏を過ごす中で、夜になっても気温が下がらず蒸し暑い日が多いと感じています。

これらの要因が重なることで、毎年暑さが増しているという現状ですが、このままでは健康や生活環境への影響がますます深刻化するのはないかと心配です。それに伴って、熱中症対策やエネルギー消費の問題も重要な課題になっています。

私たち一人ひとりができることは限られているかもしれませんが、省エネや環境への配慮を心がけることで、少しでも地球温暖化の進行を遅らせることに貢献できると思えます。この暑さを乗り越えるためにも、環境問題について改めて考える良い機会だと感じています。

■日本人の結婚平均年齢はいくつなの？

日本人の結婚平均年齢は年々上昇しています。最新のデータでは、男性が約31歳、女性が約29歳となっています。30年前の平均初婚年齢は男性は28歳、女性は26歳で、この30年間で男性は約2歳、女性は約3歳初婚年齢が上昇しています。この背景には、若い世代の結婚に対する価値観の変化があると思えます。例えば、仕事やキャリアを優先し、安定した生活基盤を築いてから結婚を考える人が増えているのは現代らしい傾向です。

また、経済的な理由で結婚を先延ばしにする人も多いのが現状です。特に、子育てにかかる費用や、将来に対する不安から、慎重にならざるを得ないという声もよく耳にします。さらに、結婚そのものに対する意識が変わりつつあるのも要因の一つでしょう。以前は結婚が当たり前とされてきましたが、今は結婚しないという選択肢も広く認められるようになってきました。

ただし、結婚年齢が高くなることで、少子化の問題がさらに深刻化する懸念があるのは見逃せません。子どもを育てる期間が短くなることで、家庭での子どもの数が減る傾向も強まっています。この点に関しては、政府や社会全体での支援がますます重要になるでしょう。

私自身も、結婚について考えるとき、こうした現状や背景を踏まえながら、自分らしいタイミングで考えることが大切だと感じています。結婚がゴールではなく、一つの選択肢として、個々の価値観やライフスタイルに合った形を選ぶ社会になると良いですね。

■お年寄りの方がコンビニで働くのは日本では一般的なの？

近年、高齢者がコンビニで働く姿を見かけることが増えました。少子化や労働力不足の影響もありますが、コンビニ業界ではシフトの柔軟さや定年後でも働ける環境が整っていることが、高齢者にとって魅力的な理由の一つだと思います。特に、24時間営業が多いコンビニでは、日中だけでなく夜間や早朝といったさまざまな時間帯で働けるため、自分の体力やライフスタイルに合った働き方ができるのが大きなポイントです。

私も高齢者の方がコンビニでイキイキと働いている姿を見ると、とても励まされます。経済的な理由で働き続ける方もいらっしゃると思いますが、それ以上に、社会とのつながりを維持する手段として働くことが大切なのだと感じます。人と関わることで得られる喜びや、生きがいを感じる瞬間は、どんな年齢になっても貴重ですね。

また、コンビニでの仕事はお客さんとの会話や商品の陳列など、適度に体を動かす要素も含まれているので、健康面でもプラスになる部分があるのではないのでしょうか。こうした働き方の選択肢が増えていることは、高齢化が進む日本社会にとって、とても意義深いことだと思います。

これからも、もっと多くの企業が高齢者が働きやすい環境を整えることで、誰もが自分に合った形で社会とつながり続けられる未来が広がるといいなと思います。

■日本人はなぜメガネをかけるのが好きなの？

日本人がメガネをかけるのが好きな理由には、いくつかの要素があります。まず、日本では視力が悪い人が多いため、視力補正としてメガネを使うのが一般的です。私自身も視力が悪いので、メガネは日常生活に欠かせない存在です。

しかし、それだけではなく、メガネはファッションアイテムとしても人気があります。フレームのデザインや色、形を選ぶことで、自分らしさや個性を表現できるのが魅力だと思います。特に若い世代の間では、メガネをかけることで顔の印象を変えたり、スタイルを整えたりと、自己表現の一つとして楽しんでいる人が多いように感じます。

さらに、日本ではメガネをかけることで『知的で落ち着いた印象』を与えるというイメージがあるのも面白いポイントです。職場や学校など、フォーマルな場面でもメガネをかける人が多いのは、そうした印象を意識しているからかもしれません。

私も、メガネを新調するときには、機能性だけでなくデザインにもこだわります。日常の必需品でありながら、自分のスタイルを演出できるアイテムとして、メガネはとても魅力的な存在だと思います。

■ほとんどの日本人がiPhoneを持っているのはどうして？

日本で多くの人がiPhoneを持っている理由は、iPhoneの高い品質と使いやすさが日本の消費者から信頼されている点が大きいです。デザインや機能がとても洗練されていて、操作が直感的なので、幅広い世代の人が日常的に使いやすいスマートフォンとして選んでいるのだと思います。さらに、日本ではiPhoneに特化したサービスやアプリが充実していることも、人気の理由の一つだと感じます。例えば、SuicaやPayPayといった日本特有のキャッシュレス決済がスムーズに使えることや、iPhoneに対応した通信キャリアのプランが豊富にあることが、iPhoneの利便性をさらに高めています。

それに加えて、Appleのブランド力の強さも見逃せないポイントです。iPhoneは「持っていること自体がステータス」と考えられている部分があり、特に若い世代の間ではその傾向が強いと感じます。周囲の人と同じブランドを持つことで安心感を得たり、ファッションの一部として取り入れたりする人も多いのではないのでしょうか。

また、日本の通信インフラが非常に高い水準にあることも、iPhoneを快適に使える環境を支えていると思います。高速で安定した通信環境が整っていることで、iPhoneの性能を最大限に引き出せるのは、日本ならではの強みだと感じます。

私自身もiPhoneを使っていますが、使いやすさやデザインだけでなく、周囲との連携や利便性を考えると、本当に満足度の高いスマートフォンだと実感しています。

■多くの人々が本にカバーをつけて読んでいるのはどうして？

日本で多くの人々が本にカバーをつけて読むのは、カバーをつけることで本を長持ちさせるといった実用的な面があると思います。本の表紙は摩擦や汚れ、折れに弱いので、カバーをつけて保護することで、本をきれいな状態で保つことができます。

日本では本を大切に扱うという文化が根強くあります。本を読むという行為自体が、知識や感動を得る大切な時間だと考えられていて、それを象徴するかのようには本を丁寧に扱う習慣があるのだと思います。カバーをつけることは、その本を大切に思う気持ちの表れとも言えるでしょう。

もう一つの理由として、本の表紙を他人の目から隠すためという理由もあります。特に恥ずかしい内容の本でなくても、自分の読んでいる本のタイトルやジャンルを周囲に知られるのを避けたいと考える人は少なくありません。日本では、自分の好みや趣味を他人に見られることを気にする人も多く、カバーをつけることでプライバシーを守りつつ、安心して読書を楽しむことができるのです。

私自身も本を買ったときにカバーをつけてもらうことがあります。表紙を傷つける心配がなくなるので安心ですし、カバーのデザインを楽しむのも一つの楽しみだと思っています。本を大切にするという日本の価値観は、本好きの私にとってとても共感できるものです。

■なぜ日本の女性はそんなにやせているの？

日本の女性が比較的痩せている理由には、やはり日本の食文化が大きく影響していると思います。日本食は魚や野菜、米を中心としたバランスの良い食事が多く、比較的低カロリーで健康的です。揚げ物や高カロリーの食品が控えめにされる傾向があるのも、自然と体型を維持しやすい要因の一つだと感じます。

さらに、日本では運動習慣が日常生活に溶け込んでいるのも特徴的です。通勤や通学でよく歩くことが多いですし、日々の移動手段として体を動かす機会が多いことが、消費カロリーを増やす要因になっていると思います。こうした日常的な活動量の多さが、自然と健康的な体型を維持する助けになっているでしょう。

ただ、痩せていることが必ずしも健康に直結するわけではないですし、ダイエットの必要性は個人の価値観による部分が大きいと思います。

日本では、メディアや社会的な美意識の影響で『痩せていることが美しい』とされる風潮が強いですが、無理をしてダイエットをする必要はないと思います。健康的で、自分が心地よいと感じる体型であることが一番大切です。

■なぜ日本人をはじめとしたアジア人はスマホに依存しているの？

日本人がスマートフォンに依存している理由には、テクノロジーの進化とスマホが生活を便利にしたことが大きく関係していると思います。スマートフォンは、電話やメッセージのやり取りだけでなく、インターネット、SNS、ゲーム、音楽、ショッピング、地図、銀行など、さまざまなサービスを一つの端末で利用できるの、日常生活に欠かせないツールになっています。

特に都市部では、スマホを使うことが当たり前になっていて、仕事の連絡や情報の共有、社会的なつながりの多くがスマホを通じて行われています。こうした環境が、スマホへの依存度を高めている一因だと感じます。私自身も、仕事やプライベートでスマホを使う時間が多いので、その便利さを実感しています。また、特に若い世代では、SNSやゲームの利用が日常化しているのも依存を助長している要因だと思います。常に最新の情報を得たり、友人とリアルタイムでつながることができるので、スマホを手放せないと感じる人が多いのではないのでしょうか。瞬時に情報を得られる便利さは本当に魅力的ですが、その反面、スマホに頼りすぎることによって他のことが疎かになってしまうこともあるかもしれません。

スマホは非常に便利で生活に欠かせないツールですが、やはりバランスが大切だと思います。便利さに頼りすぎず、適度に使い方を見直すことが、より健康的で充実した生活につながるのではないのでしょうか。

■なぜ日本人はあらかじめスケジュールを組みたがるの？

日本人があらかじめスケジュールを組みたがる理由には、日本特有の文化や価値観が関係していると思います。日本では、仕事や学校、家庭など、日々の活動を計画的に進めることが重要視されています。スケジュールを立てることで、無駄な時間を減らし、各活動に集中できるので、効率的に成果を上げることができるというメリットがあります。

また、事前に計画を立てることで、予測可能な環境で行動できるため、安心感やストレスの軽減にもつながるのだと思います。「次に何をすべきか」が明確であれば、余計な心配をせずに物事を進められるので、精神的な負担も軽減されます。

このような計画性を重視する考え方は、学校や職場など、あらゆる場面で根付いているのが日本の特徴だと思います。

私自身も、予定を立てて行動することで、スムーズに物事が進むと感じることが多いです。特に、仕事や大事な用事があるときは、スケジュールをきちんと組むことで効率的に進められるだけでなく、安心感も得られると実感しています。

こうした計画性を重視する文化は、日本社会全体の特徴として、多くの場面で役立っています。ただ、あまりにスケジュールに縛られすぎて柔軟性が失われることのないよう、バランスを取ることも大切だと感じます。

■ 疲れた顔をしている人が多いけど、日本人はちゃんと寝ているの？

日本人が疲れた顔をしていることが多いのは、やはり過度の労働やストレス、そして忙しい生活習慣が影響しているのだと思います。日本では、仕事や学校、家庭での責任を果たすために忙しい毎日を送っている人が多く、長時間働くことが一般的になっているのが現状です。そのため、十分な睡眠時間を確保できないことが多く、結果として疲れが顔に現れるのではないかと感じます。

とはいえ、日本人が睡眠を軽視しているわけではありません。基本的には、夜の睡眠をしっかりと取ることを大切にしている人が多いと思います。ただ、忙しさやストレスの影響で、睡眠の質が低下してしまうことがあるのも事実です。例えば、仕事のプレッシャーやスケジュールの詰め込みすぎによって、なかなか深く休めないことがあるのではないのでしょうか。最近では、働き方改革や健康意識の向上により、睡眠の質を重視する人が増えているのは良い傾向だと感じます。特に、効率よく働くことやストレスを減らすための取り組みが進んでおり、少しずつ改善されつつあるように思います。疲れた顔を少しでも減らすためには、睡眠時間だけでなく、質の向上にも目を向けることが必要だと思います。日々の忙しさの中でも、自分の健康を優先してバランスを取ることが大切です。

■ 職場に家族の写真を飾らないのはどうして？

日本では、職場に家族の写真を飾らないのが一般的です。これには、日本特有の企業文化や価値観が深く関係していると思います。職場では仕事に集中することが重視されており、プライベートと仕事の区別を明確にすることが求められます。

家族の写真を飾ることは、職場に私生活を持ち込むと見なされる場合があり、仕事に対する姿勢として控えた方が良くと考えられるのかもしれませんが。

また、日本の職場では、個人の私生活をあまり前面に出さないことが求められる傾向があります。職場での人間関係は仕事を中心に構築されるため、家族や個人の情報を他の社員に公開することで、余計な気を使わせることを避けたいという考え方も影響していると思います。職場内での距離感や、他者への配慮を大切にする日本の文化が、こうした習慣につながっているのではないのでしょうか。

さらに、家族の写真を飾ることで、個人的な感情が仕事に影響を与えることを防ぐという側面もあると思います。たとえば、家族の話題がきっかけで他の社員と距離感が生まれたり、無意識のうちに職場の雰囲気に影響を与えることを避けるための配慮なのかもしれません。

私自身も、日本の職場文化の中で、プライベートと仕事をきちんと分けることの大切さを感じる場面があります。ただ、家族の写真を飾ることでモチベーションを高めたり、自分にとっての支えを再確認できるという考え方も理解できます。どちらのスタイルも、それぞれの職場や環境に応じて選べるのが理想です。

■日本人はなぜマスクをしている人が多いの？

日本でマスクをしている人が多い理由は、まず、風邪やインフルエンザなどの病気を予防するためです。特に冬場は感染症が流行しやすいため、自分を守るためだけでなく、他の人への感染を防ぐためにマスクをするのが自然な行動とされています。

また、日本には「他人に迷惑をかけない」という文化が根付いています。自分が風邪をひいている場合や、体調が優れないときにマスクを着用することで、周囲への配慮を示すという社会的な意識が強いと感じます。いわゆる「空気を読む」という日本特有の感覚が、マスクの着用率の高さにも影響しているのではないのでしょうか。

さらに、花粉症やアレルギーの対策としても、マスクは欠かせないアイテムです。春先になると、花粉症の影響でマスクをつける人が一気に増えます。

最近では、マスクがファッションの一部として使われることも増えています。特に若い世代の間では、デザイン性の高いマスクを選んで、スタイルの一部として取り入れる人も多いです。

こうした文化的・実用的な理由が組み合わさることで、日本ではマスクが生活
の中で非常に身近な存在になっているのだと思います。

「外国人から日本についてよく聞かれる250の質問（日常編）」はいかがで
したか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

